（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年八月六日　（土曜日）　第二千十號

（五日夕刊）

磐城新聞

休刊日　毎月第一第三日曜日
定價　壹ケ月五十錢　郵稅共
廣告料　（特別欄一行五十錢　協賛指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔　福島縣平町田町拾六番
發行所　磐城新聞社　電話五番

磐中富士登山記

藤井生記

（第一日目）

登山隊一行二十七名は小野小松兩先生に引率され七月二十八日午前二時二十二分平發準急行列車にて出發した。

日暮里へつくや否や、山の手線の電車にのつて新宿にむかふ途中　天皇陛下の御通りのあとあつて東海道線には警官が配置されてゐた。注意書によつて淺川の方に行く列車へ乘れたが一行がのりこんだ客車は淺川へ行かないから後の方へつれと云はれた兎も角何事もなく乘換へて淺川へ十一時十分についた。

驛前には高尾山行の赤い大きな自働車が三四臺あつて女車掌の聲がにくらしくなつてしまつた。小野先生の引率に依て近道を通つて御陵に行く。道の右側には繪葉書屋が立列んでゐて言葉は色々あるが皆同じことを云つてゐた。自分達は新聞で見たり友達に聞いたりして知つてたが先生方は知つて居られなかつたのだらうか門前には大林組とかいた旗がひら〳〵して御陵は工事中であつた。そして門はいた樣な雲があつて一行のとこまでしか入られないはことになつてゐた。止むなく一同は門にむかつて遙拜した。

新宿から同行せし梶原先生は高尾山に行くさうで停車場でわかれた。汽車は同じく富士に行く人達によつて非常にこみあつた皆白い着物にあみがさのいでたち白い着物には印かべた〳〵おと云ふ八月の望の日も近いことで一寸だけ白くそびえ居るのて左右にも亦大小無數の山々がかざりなくつゞいてゐた。三國第一山と書いてありませぬ」

重太夫は引受けたが流石にも家老であり殊に近頃では上席家老の神部淸左工門が有つても無きが如く、殆ど流石に云ひにくいであつた深雪の方は何んとなく下ではなんと思つても表面はなかつた、

廣告

やまもり
御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

正確な體温器と
寒暖計は
山野邊藥店
平町五丁目角

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

仙臺高等工業學校長試驗證明
鐵道省指定
福島縣廳御指定
地圖

平町
江名間乘合自働車開通
八月七日ヨリ定期運轉可致候
發着所　南町民政倶樂部脇
電話六五九番
平　姑發　午前六時
江名　終發　午後六時
片濱自働車商會
發着所　四丁目和泉屋前
電話一四二番
平、高久間……四十五錢
平、豊間間……六十五錢
平、江名間……八十錢

夜診
胃腸　内科　十二指腸虫病　専門　内科部
梅毒　泌尿婦人病皮膚病　専門　外科部
平南町　松村病院　電話一〇七番
療間

營業目種
内地材　材木各種、羽柄材各種　建築諸材請負　礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負　其他
㊧佐藤材木店
常磐線平町　新川町
電話三三五番

酸造元　清世界
石城小名濱町
清水屋
銘酒　小野晋平
各炭鑛御用達
電話六番

内科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、
平町田町
高久病院
醫學士高久忠　赤羽清　佐竹菊雄
電話五二三番

懇切迅速勉強は
弊店のモットーであります
御指定　磐城銀行
ケーテー洋服店
平町材木町　高野幸一

㊧佐藤掛商店
東京市日本橋區通油町
株式會社
營業品目　絹糸、絹紡績糸、綿糸、染糸、組紐、漁網糸、人造絹糸、カタン糸、輸出用加工糸、其他糸物一式
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
電話浪花三五二一番　振替東京三二四〇番
小店員募集
十五才以上十七八才迄五名
小學校卒業程度御希望の方は磐城新聞社御出で下さい。委細面談

㊧電氣館
サリーオニール　ジョン・バトリンク氏共演　全七巻　親と子の脫線大喜劇
八月四日ヨリ三日間短期公開
㊧プログラム
快漢ウイリアムラッセル氏名花エリナーボットマン嬢共演　名花エリナーボットマン嬢　曉原大冒險喜劇　全六巻
白雪積るロッキーの國　境愛と憎思に惱む人間記錄の映畫
笑はぬ名優キートン君主演　百萬弗大喜劇　全八巻
㊧キートンの探偵
暑さ忘れて共に笑へ……吾がキートン君のために
本週に限り入場料　特等　六〇　一等　五〇　二等　四〇　小人各等半額
高級常設館　平館
土、日曜學生デー

磐城沼

（106）

高橋掬太郎創作

布施雪八郎揮毫

講談

重太夫は淫らな笑みを浮たが仕方がない。側にゐたかべ乍ら辯口巧みに云ふ。二人の侍女を次ぎの間へ退「ナニ、遠慮には及ばぬ早らせく致せよ」

「重太夫殿、これで宜うど「はツ。しかし主君何事もございまするか」

「はツ、結構でござります急ては事を仕損じる、待てんだ御面倒を相掛けますするお待ちなさるがようござります、何れとも近日中によい御返事をに耳に入れることでござりませう」

「にゝ、しかと頼んだぞ」

「心得ました、して成巧の暁は御褒美は……」

と重太夫は決て慾張ることを忘れなかつた

「褒美か、澤山取らすぞ」

「澤山と申して……」

「たゝ五百石を與へやう」

「はツ——有難う存じまする」と重太夫は禮を述べて追出したがどうせ一度は話をせねばならぬのだと決心して彼は思ひ切つて深雪の方の居間を訪れた。

「た部屋様、わらせられまするか？」

「おゝ重太夫殿か、何んぞ御用がありましたが？」

深雪の方は徹笑んで迎へ入れた。た家に仇なす惡人かとは思へば、深雪の方は重太夫を見るさへ胸が憎惡に湧き立つて口惜し涙がこみ上げてくるのであつたが、假り申上げましたところ、主君の仰せらるゝには……」

と云つたがあとは重太夫

ぬが……」

と深雪の方の顏を讀むやうに見つめながら云つた

「昌康君も此の度御相續遊されたについて、早う御內室をた定め申さねばなりま

「……」

深雪の方は無言であつた

「ついて、此の事を主君に

かす踏み越ゆる如き日▲三碧　機を捕ふること敏なれば勞少くて効多き日▲四綠　喜憂交々至り變動常なき日　內外注意すべし▲五黃　運氣浮動定まらず迷ふ時は魔の手に乘り易し▲六白　勞を惜まず苦を厭はず努力すれば効ある日▲七赤　自ら抑へても我意の募りて失敗に陷り易き日▲八白　意外の不利に陷る事あり總ての口入事注意▲九紫　凶より吉に次第發展し行く日口舌失せ物注意

明日の吉凶……七月　八日　舊暦　新月　九日　十日

▲一白　十分と見込みて爲せし事も外れ勝ちなる日▲二黑　足元にある寶に氣付

例の深雪の方の

涼風自ら肌を襲ふ名篇

警察定めた場所で 平町今年の盆踊

早くも若衆が稽古盛る 平署の方針決る

舊暦宇羅盆月に入つた平町地方は諒闇中であるとは言へ流石に盆特有の氣分が漂ひ始め灯が淡く／＼もる薄暮の頃ともなれば此處彼處から年に一度の盆踊を練習する笛や太鼓の音さへ洩れてする老若男女を問ず待ち焦れてゐる宇蘭盆會の事でもあり年一回の

無禮講 とも見るべき盆踊を禁止するのは忍びないとの意嚮から『今年は諒闇中であるを念題に置いて……』との條件で今年も盆踊は差支なしとの御達しがあつたのは既報の如く『切角のお盆にも諒闇では』と銷氣更つてゐた踊子連中の喜は大いしたもので裝ひ凝らして當日を待焦れてゐる平町當局でも永い間の慣習でもあり

地方色の 濃厚な此の盆踊を禁止される事は直接影響する所多く平署當局も交捗を繰返してゐただけに愈々許可になる事と決定を見て喜こんでゐるが町內各區長は愈々盆踊が例年通り許可になる事に決定したので過般來から寄々協議を進めてゐたが此の結果今五日平署宛に各區長連名で次の如く許可願を呈出した即ち踊は男が女装をしたり女が男装をしたり其の他異様な風体をしない事、猥褻に渉る

歌舞又は 行ゐをしない事、交通の妨害をしない事、諒闇中不謹愼な態度に出でない事等を前呈として次の各所に於いて踊る事

四町目六番地、新川町十四番地、立町十七番地、四町目三十六番地、白銀町三十八番地、三町目十五番地、鍛冶町三十五番地、新川町一番地、長橋町三番地、南町六十一番地、材木町二十五番地、

區廢問題も絡むで 組頭後任問題

野心家も首を擡げて よく騷ぐ湯本町

石城郡湯本消防組が本春字に盡力せる廉少からずとし石畑迫四部々設置するに當て同氏を小頭たらしむべくり町會議員渡邊長作氏は之一部が畫策したるに對し輿論が多年の功勞者たる石川彙次郎氏を推すを以て相當であると云ふことになり同氏に

決定就任 を見るに至つたので之がため關係者の間に一種の面白からぬ感情が生じ今春平町に於ける消防點檢等の際にも或る者によつて行はれた四五の消防手に對する參加が煽動の事實などが傳へられたにより圓滿平和を期せねばならぬ消防組本來の性質から觀て一部識者の顰蹙をまねいで居たか最近現組頭木村順平氏が健康上辭表を提出するや前記町議渡邊長作氏は顧問を同鯨岡誠跡は組頭の後釜なるべく食指大に動かんとするの情勢にあり既に平警察署方面の

諒解を求 めんとじつゝあるもの〻如くなるも兩氏とも恰も目下全町鼎沸の紛擾を醸しつゝある大字湯本區製廢止提案の中心人物なる丈けにこの問題に關し近來同町消防組間に一種の動搖を生じ組員は寄々協議の上萬一前記事實が實現さるゝ場合に於ては全員辭表を提出し同地消防組は一時解散のほかやむなからざる結果を招くではないかと憂慮してゐる向もある

發生死亡率とゝもに 傳患成績良好

平署管內の現在調べ 衛生思想の向上

平署管內平町外三町十八ケ村に於ける今八月五日現在發生せる傳染病患者は腸チブスが四名ヂフテリヤ一名計五名で例年の傳染病期に比較すれば發生數が僅少で此れは平警察署衛生係並に各町村當局が傳染病豫防に全力を傾注した結果であらうが更らに此を今年當初からの總發生數△腸チブス七十六△ヂフテリヤ五十九△パラチブス八△疫痢五△赤痢三△猖紅熱四總計百五十五名と前年同期の百五十二名に比較すると僅に三名の減を示してゐるのみで殆んど大差ない過般湯本町に於ける腸チブスの蔓延に依る患者激增の結果此の不良な成績を示したものである事は勿論で死亡率の如きは腸チブス五、ヂフテリヤ九、パラチブス一疫痢三、猖紅熱一計十九名で前年の三十二名に比較すれば約四割減の好成績を示してゐる

中傷的宣傳

永戸收入役に 平署でも調査

石城郡永戸組合村では去月二十九卅の兩日縣安田屬が村定期の行政監査をなしたが何の滯りもなくしかも同村役場は數年前燒失し帳簿その他がすべて新調したるにも拘らず萬遺憾なく非常な好成績で安田屬も驚ろいて歸廳したがあづかつてゐる同村柴崎收入役は來る九月滿期退職することになるが早くも收入役の椅子をねらう同村某の如きは同氏に對してあられもない流説を宣傳し中傷讒誣の限りをつくして同人を陷れ樣としてゐるので柴崎收入役は非常に迷惑を被つてゐるが同村民一般は柴崎氏の人格行動等については知悉のことで却て流説をいひ散らす某々等について非常の反感を持ち近く何等かの方法を以て某々等に反省を求めるべく協議中で平署でもこれ等流説をなす卑劣漢について調査をなすことになつた

必勝を期して 大會前の磐炭軍

來る十二日仙臺に 續いて實業庭球

仙臺鑛山監督局主催の仙礦局管內全礦山の第二回庭球カツプ爭奪戰は來る十二日午前八時から宮城高等女學校コートで擧行されるが當地方からは磐城、入山、古河、三井等各礦から各三組宛出場する筈で目下必死の猛練習を續けてゐるが現在のカツプ保持チームは磐炭である、尚同月十四日に仙臺市軟球協會主催の東北實業庭球大會が同コートに於いて擧行されるので當地方から出場の各選手は同大會にも參加する筈である

救世軍の學校

救世軍平小隊の兒童林間臨海移動學校は今五日午前八時から大浦村新舞子に移動した

新復活 □東亞甲陽作品、上村節子、琵琶洋之助主演 爛れた樣な濁穢の巷に頽廢して行く一人の女性があつた、將野勝子、彼女を人は異名してカチーシャと呼んでゐた、カチーシャの生活は自暴自棄の泥濘の樣な醜惡のドン底へ沈んで行つた、かうしたカチーシャを見た時、[illegible]情な勝子を弄び遂に今日の勝子にまで墮落せしめた根生龍三は己れの罪の深さにおのゝいた、彼は勝子を救ふため總てを犧牲にして擲つた龍三の努力は報ひられ勝子は光明の生活へ導かれて行つた。上村のカチーシャ

小名濱築港の 埋立地利用方針

九萬七千二百坪を 縣土木課の立案

小名濱築港の結果九萬七千二百坪の埋坪地が出來るので將來重要港灣としての面目を保持するためこれを左の如く處分しやうと目下土木課にたいて調査中である

冷藏庫敷地	二、七〇〇坪
廻送業	六、〇六〇
商工業	六、八五〇
賣却見込地	一五、六五〇

又第二案として

貯炭場	一六、五七〇坪
貸下地	三、三七五

貸下地の區別

倉庫	一、四二五坪
同	一、〇五〇
魚市場	九〇〇
公共用地	八、五四五
共同荷上	一、〇五〇
貨物置場	三、九一五
公共建物	三、五八〇

自動車で走る 撒水成功

平の懸案實現

平町消防組が肝入りとなつて同町一丁目から五丁目及南町田町の大通りへ開始した自動車撒水は非常に成績が良好でもあり實施してゐる宇町のこれにより蒙る恩惠は實に甚大なもので衛生思想の高唱されて來た昨今其及ぼす效果の渺少でない事を知れる一般宇町では最初は經費の負擔其他の事情で前記宇町と歩調を一にする能はず加盟する事を見合せてゐたが前述のよき實績に鑑み刺戟されて遂に其撒水を受けることゝなり寄附募集なれば平町樞要大通りの撒水はこれによつて愈々永年の懸案であつた理想を實現する事となつた

眞綿玉糸講習

石城養蠶組合

石城郡養蠶同業組合では縣當局の奬勵に基き管內各村支部に於て眞綿及玉糸講習會開催の件を幹旋中なので高久支部では九月二十五日から十月一日迄一週間同村地藏院內に於て尙泉支部では九月二十日から二十六日迄一週長村農會議場に於て開催する旨申込んでゐるが講師派遣日割等の都合あれば希望町村支部では本月十日迄に申込まれたいと

寄附を勸說し廻る 俄坊主の悪行爲

中は強請り同様に 平署も嚴重取締

不景氣が生んだ一つの事としてこの頃の寄附勸說の增したのは實に驚くばかりである、曰く何々觀音の御堂改築曰く何々神社の屋根修繕などゝ聞いた事もないやうな所の名を云つては各方面の良家をねり歩くのであるが之等の多くは俄仕立の僧である一體總額百圓以上の寄附を募集する時には其筋の如何を問はず警察署の許可を受けねばならぬ事になつてゐるのだが斯うして煙のやうな寄附勸說員にはナンで許可などのあらう道理もなく中には婦女子ばかりと見れば強請にもひとしい者があるから一般でも注意すべく平署では目下取締中

半額きり納らぬ 平町の戸數割

金額人員ともに悪く 町當局躍起督勵

税法改正に依る平町の特別税戸數割の納入成績が頗る不良である事既報の如くであるが町當局で調査した處に依ると賦課額四萬七千六百拾一圓貳拾五錢（納税人四千六百貳拾四人）の中納入額は貳萬六千九百貳拾五圓參拾九錢（納税者貳千參百廿一人で丁度

賦課額に比して半額 と言ふ不良であるが此の內譯は納税組合納入額一萬九千十八圓八十七圓、個人納入額七千九百六圓五十二錢と言ふ状態で更らに此れを前年度の納入率に比較して見ると十五年度は賦課額四萬三千八百六十六圓に對し納入額二萬千四百十八圓餘で約四割八分であるから幾分良好とも見らるゝがどうせ一度は納入しなければならない税金であるから

出來得るだけ早く納 入して貰らいたいものだ

涼み客當込の 不正商人

平署一掃計書

暑い夏の夜に涼を求めんとしてそゞろ歩く散策の足を止めさせ巧な手段方法を用ひて日用品等の不良品を誠しやかに高價に賣付けんとする樣な不正商人が平町地方へ入り込み比較的商品知識に淺薄な純朴な地方民を欺き暴利を食つてゐるものがあるので所轄平署では之等不正露店商人の一掃を圖る方針であると

新任署長の暇乞

樫村郡山、近藤保原の各署長は今五日午後平町の各官公衛新聞社有志等を訪問暇乞の挨拶をなした

東煙室

盆歌も毎年々々同じ文句では聽く方でも唄ふ方でも張り合ひがない、七七、七五で合計二十六字（都々逸磯ぶしなどゝ同じ）になれば何でもうたはれる、今年は一つ目先のかはつた盆踊りの歌を考へやうではないか、その盆歌に就て理想を云ふなればなるべく地方色が出て居つて皮肉諷刺滑稽を寓意したもの、而も歌詞中の方言などは至つては最も大膽卒直に現して欲しいものだ

明日の天氣豫報

（小名濱測候所發表）

南の風 晴時々曇

本日正午の温度 八四度九分

平第一臨海學校

（第三信）

八月三日（水）曇時々少雨 今朝は昨日の疲れでぐつすりねこんで、先生に起こされました。朝の散歩は築港、例の通り朝の學習が終つてから、磐中の山崎先生の御指導の下に水泳の練習。技倆によつて綠、白、赤の三階級に分たれました。得意がる者。猶つて上級に進まんと努力する者、山崎先生もこの懸命振りを賞めて明日から午前中御指導下さることになりました。午後。少雨でしたが二丁目の永山小平氏の厚意で地曳をいたしました。生きた海の魚を見るのが始めてとて大喜びで引くは引くは前後四回、大き一穴に二つといふ好成績。晩の膳にはこの獲物の御馳走で大ニコ／＼ため常よりも餘計にたべました。永山さんは今後も時々ひかして下さるさうです。私共は永山さんの御厚意に深謝すると共にこの事を在町のお父さんやお母さんにお知らせいたします。

（第四信）

八月四日（木）曇時々雨 今日も思はしくない天氣です。曇つた空からは時々雨が落ちて來ます。しかし先生方の周到な心づかいから泳ぐことも出來ましたし、室內にゐても別に退屈することもありません。誠に先生方の御骨折は並大抵ではありません。次に先生方の御紹介して御厚意を感謝すると共にお父さんやお母さんにお知らせいたします

▼會我校長先生 いつもだまつてゐますが學校にゐる時の樣に恐ろしくはありません、始終ニコ／＼していろ／＼御世話下さるからです。

▼中野目先生 いつも太鼓腹をたゝいて布袋の樣にニコ／＼してゐます。こちらへ來た日一同目方を計つた時、先生は十八貫目で一番重かつたので大得意でゐます。

▼坂內先生 いつでも煙草を放しません。あんなに吸つたら腹の中が黒くなりさうなものですが、事實は反對で腹の中はきれいな方です。

▼引地先生 臺所の守です。四十人の食事を引受けてしかもカロリーを考へ飽きのこない樣に献立をしてくれます。夜中にそつと見廻つてくれるのもこの先生です。誠に有難いことです。

▼水野谷先生 顏の割合に大きな眼鏡、廣い額、いつでも何か口づさんでゐる。快活なよい先生。水泳監督をやつて下さる。

▼金澤先生 元氣な先生 いつも赤フンで、集れ!!集れ!!海岸へ向つて前へ!!元氣な號令で靜かな境內にひびきます。

▼上川先生 この先生も若い快活な先生。水泳が大得意でいつも沖に出てコ、マデオ出と大いばりします。

以上の七先生が臨海學校の附添先生。このほか夏季大學に出てゐる中野、横田、水竹、大內、瓜田、志賀の六先生も食事を共にされてそれは／＼大賑かです

啓、本年は父政利の新盆に相當り候得共故人の遺志に依り提灯及び供物等は乍勝手一切御斷り申上度く此儀惡しからず御諒承被下度候

金古政壽
金古政通

岐阜提灯大賣出し
夏物棚サラヒ特價
陳野洋品店 平町二丁目

ヤマフル賣出し
夜間營業 五、六、七、八、九の五日間
特價品數々
エメリーコンビーフ 四〇錢
あか貝罐詰 二〇錢
日魯鮭罐 二〇錢
山崎合名營業部 電話一〇番

至急御知せ
昨年に增した出來榮の
磐城名物 盆踊唄 一枚
またく平町若連に依つて吹込れました賣切にならぬ內是非……
平町四丁目 會田時計店 電話三六三

御新盆用提灯
陳列致シマシタ
御散歩ガテラ御覽下サイ
四丁目 スガノヤ提灯店 電話七一二
五丁目 マスヤ大寶小帽子店 電話二三〇 呼出

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院 平町紺屋町 電話平園五〇七番